



にこにこだより



令和3年（2021年）5月7日（金）

横須賀市立ろう学校 幼稚部



★5月になりました★

GWが終わり、日中は汗ばむ陽気になってきました。幼稚部の子どもたちはGWをどのように過ごしたでしょうか。コロナ禍においては楽しい旅行とはいかず、ご自宅や近所の公園等で過ごしたご家庭も多いのではないかと思います。マスクをはずし、戸外の新鮮な空気を力いっぱい吸い込めるような日が待ち遠しいですね。

★鯉のぼり★



子どもの日の会に向けて毎日鯉のぼりを揚げ、歌を練習しました。鯉のぼりが2セット出てきたので、例年より豪華に飾ることにしました。子どもたちにどちらを揚げるか考えさせたところ、毎日順番に揚げるという意見があり、当面は交互に揚げることになりました。鯉を括り付けるのは先生なので、みんな先生のところに自分の好みのこいのぼりを持っていきます。しかしそれでは鯉の順番がでこぼこになってしまいます。「吹き流し」そして真鯉、緋鯉、子どもたちと続くと大きさ順に並ぶことに気が付き、順番を指示するすみれ組のお兄さん。いろいろなことがわかってきたようです。「なぜお父さんが最初？お母さんじゃダメなの？」なんて言いだしてくれるとおもしろいのですが、そこは大きさ順ということであまり深まりませんでした。

「よいしょ！よいしょ！」とみんなでロープを引っ張り高く高く上がると一斉に歓声が上がります。高く上った鯉のぼりはジャンプをしても手が届きません。そこでジャングルジムにスルス



ルと登って尻尾を触ろうとする子どもたち。一昨年は先生が抱っこをしていたことを考えると、成長したなと感じます。しばらく前までジャングルジムが怖くて登れなかった子どもが一番に尻尾を触って得意げになっています。それぞれ自分の鯉のぼりを自分に見立て、「これ〇〇ちゃん！」「これは〇〇君！」などと言っています。ん？よく見ると吉川先生のジャージがロープに引っ掛かって鯉と一緒に揚がっているではありませんか。「だめだよー！」なんて言いながらみんなで大笑いしました。

最後の2日間は全部の鯉のぼりを豪華に飾ることにしました。吹き流しを始め、真鯉や緋鯉が二匹、その他たくさんの子どもたちを見て、これはおじいちゃんとか、これは妹だとか、みんな鯉のぼりを自分の家族に見立てて鑑賞しています。中には「〇〇先生！」などと言ってくれるのは良いのですが、家族の中ではちょっと居心地が悪いかな・・・

風が強く吹く日も多く、天気も良かったので、例年よりも楽しく遊ぶことができた鯉のぼりでした。

★子どもの日の会★



4月30日（金）は子どもの日の会です。司会に初めて挑戦するあさがおさん、緊張する様子もなく、楽しそうに取り組んでいます。3月のひな祭りの会でははじめのことはも緊張していたのに。。。むしろすみれ組のお兄さんたちの方が緊張気味です。久しぶりだから仕方ありません。それでも、本番になればしっかりとことばを言ってくれました。これまでの積み重ねですね。

さて、子どもの日の会では「読み聞かせ」と「ゲーム」を楽しみました。読み聞かせは「金太郎」の絵本を読みました。力持ちの金太郎は熊とお相撲をしたり、大木を倒して橋を作ったりします。そんな金太郎を意識してか、写真のポーズはガッツポーズ。給食をたくさん食べて、金太郎のようにたくましく育ててほしいものです。

「ゲーム」では、池田先生が手作りの教材を使って「これなーんだ？」という活動をしました。写真に写っているのは柏餅ですが、実は亀の甲羅だったりして、子どもたちの予想をどんどんくつがえしていきます。そのたびに子どもたちは大騒ぎ。次に何が出てくるかとても楽しみなゲームでした。今年から幼稚部の先生になった池田先生ですが、子どもたちとも良い関係を作り、自然に幼稚部に溶け込んでいます。やさしい先生ですから、子どもたちもどんどんお話をしてほしいと思います。



気が付いたらあっという間に2時間。楽しい子どもの日の会でした。子どもたちの心に良い思い出として残ってくれたでしょうか？子どもたちが強く健康に育てられることを改めて願うひと時となりました。